

会報 ビーチing

第38号

2011年 会長年頭の挨拶

「ファインマン賞に青野氏！」に思う

会長 工藤英美

会員の皆さん新年おめでとうございます。

先日の新聞記事に標記の見出しがでておりました。ファインマン氏はノーベル物理学賞を受賞していて、これまでたくさんの業績を残しております。皆さんもご記憶にあると思いますが、1986年1月28日に起こったアメリカの有人宇宙船チャレンジャー爆発事故の原因究明に中心的な役割りを果たした人です。

同氏が若い頃「世界一小さなモーターを作った人に賞を与えます。」と広告を出した所、間もなく多くの応募者がモーターを持って来訪したそうです。残念ながら氏の意にかなうモーターは現れない。

もううんざりしていた時、又一人の若者が手に重そうな箱を持って現われた。こんな大きな物を持ってきたのではとてもダメだと思いつつ、まあ、話だけでも聞いてみるかと腰を上げた所、若者が箱を開けて取り出したのは、なんと顕微鏡だったそうです。若者が持参したモーターは顕微鏡でないと見ることができないほど小さなものだったというのです。

鏡下でくるくる回るモーターを見てファインマン氏の感動はいかばかりであったのでしょうか！！若者は賞金を手にして室を退ったというのです。

私も100年構想で森づくりを始めてから早や12年となりましたが、実現のためには植樹活動に加えて他方面からのアプローチを考えていかねばならないのではないかと思います。

100年構想実現のため、これまでに考えたこともないような新しい「考え方」、「方法」を出し合う必要があると思います。年頭にあたり会員の皆さんでアイデアを出し合いませんか。それらを検討して次なる活動目標をつくっていかうではありませんか。

植樹用ブナポット植え替え作業実施

ブナポット苗植え替え作業を右欄のとおり行いました。

作業を行ったのは延べ4日間。

1665個のポットが完成しました。

このうち23日と27日の作業は副会長の渡辺明氏が一人で行い、それ以外の2日間は有志会員（11名）が集まり、実施しました。当日は楽しく作業を行い、あっという間にポットができあがりました。参加して頂いた会員の皆様、お疲れさまでした。

実施日 (H22)	数
11/23 (火)	168
11/25 (木)	612
11/27 (土)	90
11/30 (火)	795
合計	1665

ここで作業の内容を説明します。まずは、ポット作成用の土を作ります。大きな箱に土や肥料を入れ、土をこぼさないよう気を付けつつ、底のほうからしっかりとかき混ぜます。できあがった土の周りに皆で座り、ポットへブナの苗を植えていきます。苗の大きさは一律ではないため、それぞれの苗の大きさに



に合ったポットを選んで植えていきます。できあがったポットは、数の確認が取りやすく管理しやすいように、トレーへ並べてから、園地内の苗木置き場に移動します。大人数でせっせとポットを作っていくと、大きな箱いっぱい作った土もあっというまに無くなります。土を作る→ポットに苗を植える→園地へ並べる。ポット作りは延々とこの繰り返しになります。

これから先暖かくなりますと、ポット内にブナ以外の草が伸び始めます。植物がすくすくと育つのはよいことなのですが…。ポット内雑草の除去作業には会員の皆様の協力を必要としております。お時間のある方、体を動かしたい方は春になりましたら是非ご協力のほどお願い致します。

2010年忘年会 民宿「いがわ」にて開催



毎年恒例の忘年会在、12月18日(土) 民宿「いがわ」にて行われました。来賓の伊藤副町長、芦崎副議長を交えて、会員30名余りの人達が参加してくれました。会長やご来賓の方々から挨拶を頂いたあと、今年度水曜日(休館日)に白神ふれあい館にて留守番を務めて頂いた、会員の井川哲忠氏に会長より感謝の意が伝えられ、交通費と謝礼が手渡されました。井川さん、ありがとうございました。

民宿「いがわ」の料理はとてもおいしく、皆さん満足されたのではないのでしょうか。時間と共に杯も進み、これからのネイチャー協会の事とか、自分の周りの事とか、いろいろな話が尽きないぐらい、時間が過ぎるのも忘れるほどの忘年会でした。

編 集 後 記

今年は、昨年腰痛で行けなかった元旦糠森登山に行ってきました。元日は穏やかな天気、冬とは思えないぐらいの暖かさでした。



周りを見てもすばらしい眺望で、今まで気づかなかったチゴキの灯台がはっきりと見えました。ただ、今までは吹雪いて見えなかっただけかもしれないのですが?今年こそはいろんな意味でいい世の中になってほしいし、景気も回復してもらいたい。切なる願いです。

広報部 越前谷

~~~~~

↑年末年始の穏やかな天気から一転、1月6日から連日雪に見舞われております。屋根からの落雪に耐え切れず、ふれあい館入口冬囲いの柱が3本折れ、会員有志によって修復作業を行いました(+o+) また、科学館屋根の積雪は80cmを超えたため、園地内各建物の雪下ろし作業を行いました。ぶなっころ



ンド広場では、雪原を利用し町内こども園の親子レクが開催され、かんじき体験で歓声が響きわたっております。カモシカ、テン、ウサギ等の足跡もいたる所に見られます。いきなりの豪雪ですが、風景さまざまです。【事務局】